

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
有限会社ヤマセン	19人	静岡県牧之原市	茶経営体の労働生産性及び収益性の向上支援	専門家派遣回数 3回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

茶価が低迷する中、所得向上のための茶園拡大や複合作物の導入に取り組んでいるが、野菜などの品目が増えるとともに従業員も増加し、各品目の労働時間や収益性の把握が難しくなってきた。このため、作業管理ツールを活用した労働時間の把握、収益性分析、作業の生産性向上について支援してほしい。

また、直売所の販売額が伸び悩んでいるため、対策方法について相談したい

### ■現状課題等

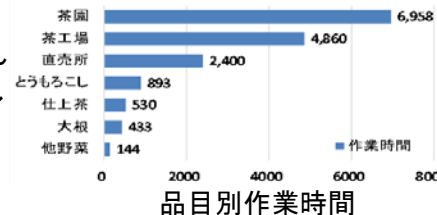
- ・茶や野菜各品目の作業時間把握及び各品目の収益性明確化。
- ・時間を費やしている作業の生産性向上。
- ・直売所の運営戦略策定。

## 相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

経営コンサルタント、普及指導センターによる支援チームを編成し、以下の支援を実施。

- 品目別収益性の分析及び経営方針策定支援(普及指導センター)  
県事業を活用してトヨタ自動車の作業管理ツール「豊作計画」で品目別作業時間を集計、これに経費を加えて各品目の売上額と比較することで品目別収益性を算出。これを上手く活用して品目別の経営方針について指導・助言。
- 生産性向上策の検討支援(経営コンサルタント・普及指導センター)  
作業時間の集計結果を踏まえ、作業時間が大きい品目の作業手順等の検証、改善方策検討を支援。従業員の多能化の重要性を説明。
- 直売所の運営戦略策定(経営コンサルタント・普及指導センター)  
顧客管理や集客方法など直売所の運営戦略検討を支援。



## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

品目別の収益性から、伸ばしていく品目、売上や経費に改善の余地がある品目を明らかにし、品目別の経営方針を策定した。



また、時間を費やして生産性向上策検討会の様子  
いる作業に対し、従業員自身が生産性向上策を検討し実践した結果、10a当たり作業時間を防除3.9%、摘採17.3%削減した。  
直売所運営では、SNSの利用や看板を増設すること、客が立ち寄りやすい環境づくりを行った。

今後、顧客管理方法や品目別再生産価格の整理、従業員の多能化を進めることで利益の出る経営を目指すこととした。

### ■コーディネーター所感

従業員自身が生産性向上策について考え実践することで、作業や働き方に対する意識や意欲を向上させることができた。

今回の支援成果を活かし、今後も経営改善を継続し、利益向上に繋がることを期待したい。